

10月14日(水曜日)「生活の中の優先順位」

【新改訳 2017】

ルカ 10.38-42

「主は……言われた。『マルタ、マルタ。あなたは、いろいろなことを心配して、気を使っています。しかし、どうしても必要なことはわずかです。いや、1つだけです。マリヤはその良い方を選んだのです。……』」(41、42 節)

これは、マルタとマリヤという姉妹に関する有名なお話です。イエスを喜んで家に迎え入れた時、マルタは姉らしく(?) 最初もてなしに気を使いました。願ってもない来賓ですから、当然だったと言えます。しかし彼女は、心を乱して、妹マリヤの態度とイエスの沈黙を見てつぶやいてしまったのです。

その時、主イエスは、冒頭のように答えられたのでした。マリヤが選んだほうとは、何だったのでしょうか。「主の足もとにすわって、みことばに聞き入る」ことでした。

喜び＝歓迎＝もてなしは、悪いことではなかったのですが、「みことばに聞く」人を責めるような仕方ではなければならないことではないのです。みことば第一、それから、奉仕です。

～祈り～

主よ。善意のつもりで奉仕をしながらも人を責めてしまうようなことのないよう成長させてください。また、優先順位をよく知ることができるよう。

【学びのために】

しばしば引用される有名な話ですが、よく読んで考えると、たくさんのかたを教えられています。信仰生活の中でも、優先順位をよく考えて行動することが大切です。